

しなやか通信 第28号

2009年 夏

輝き続けることを望み手作りの活動を！

発行 しなやかシニアの会

事務局 リュエルしなやか 代表 佐藤 明子

住所：520-0043 大津市中央1丁目8-27

電話/FAX：077(558)7233

e-mail: shinayaka077@nifty.com

HP: <http://www.shinayakashinia.com/>

かつては人生50年と言われていました。ところが今では有に80年を超えています。人間が生まれてから成人に達するまでの期間は昔とそんなに大差はないのですから、結局伸びたのは老年期です。

今の高齢者は、あまり前例のない人生を手探りで過ごしておられるのではないのでしょうか。未知への冒険？とんでもない。多くは暗闇を不安を抱きながら恐る恐る歩くかのように、予測していた自分の老後とはかけ離れた日常を受け入れ難く戸惑いながら。

お年寄りが身を呈して「老い」の実態を私たち次世代



シニアの目で覗いてみよう - ブラジル編 -

自分の親を通して語られた、ブラジル移民についてのお話は現在の非雇用を目にしているが故に、心打たれるものがありました。

(作って頂いたブラジル料理を食べながら、歓談)

しなやかなつづやき

「家」は、世帯員が最大の時を考え建てられることが多いと一般に言われる。子供たちが独立し、空いてくる部屋が出てくると、おのずと物置き場にと化しがち。

こんな現象って、同世代の共通項。そこで、如何にものを減らすか、という話題が沸騰するのだが・・・

ある方、曰く 衣類など捨てるのはもったいないし、利用して使えたらと、パッチワークを始めたそう・・・

でも、でも・・・そのために又、気に入った布を集め、はぎれを集め、逆に増えちゃった～と。

笑えない話なのですが、皆さんはどう整理をされているかな？ 一度体験談など聞いてみたいなあ。

A A 記

に教えてくれているのですから、目をそらすことなく見据えることが、やがて自分たちにも訪れる老いを、少しでも理想の姿に近づけられるヒントにつながるかも知れません。

長いようでも短い人生、未来のことはどうなるか最後まで分かりません。不安を抱いたり思い患ったりしている暇はありません。一番若い今を大切に、自分なりに輝けたらいいなと感じています。



ハワイアの夕べに参加して

新生めぐみ号に乗って夏の夕べを楽しみました。

天候は曇天でしたが、早い雲の動きに琵琶湖の別の姿を見た思いがしました。

ハワイアの心地よいメロディにのってのダンスは静かなものや、リズム感あふれるもの等どれも素敵でした。特に参加者の方が気軽にダンスに参加され「楽しもう」という気持ちが伝わってきていいなあと思いました。

夕食は普段いただいたことのないインド料理のメニューでこれもよかったです。スタッフの方々も親切で行き届いたサービスで有り難かったです。

まだまだ本格的な夏はこれからですが、乗り切れそうなパワーをもらいました。ありがとうございました。

7/17 記 J.A

お知らせ

第24回 シニアを楽しむ集い

10月4日(日) 14:00～ 昇 幹夫 氏 講演

「笑いの力」-心が変れば身体もかわる-

生涯学習センター 大ホール

スケッチ倶楽部予定

8月20日(木) 逢坂の関 集合：京阪大谷駅 10時

(不参加の方は事前に連絡をお願いします)

予定・お知らせは Home Page に随時のせておりますので、是非、チェックして下さいね。
「しなやかシニアの会」で検索すると出てきます HP: <http://www.shinayakashinia.com/>